

ものづくりって楽しい

室蘭で匠教室 中学生が魅力体感

中学生に建設業や製造業
に興味や関心を持ってもら
に興味や関心を持ってもら
業部会（花村卓見部会長）



と同建設業部会（藤川康司部会長）は26日、室蘭市内で中学生対象の「ものづくり匠教室」を開いた。市内の生徒5人が工場や建設現場の見学、製作体験を通してものづくりの魅力を感じていた。

生徒たちは、三好製作所（本輪西町）の工場で、プラスチック製品の製造工程を学び、弁当箱製作を体験。昼食後、白鳥台の道営住宅の建設現場を見学した。藤川建設（東町）の担当者の案内で、建設中の住宅の完成した部屋と内装工事前の部屋を見て回った。

蓬岫殿（宮の森町）では、田淵建設（高砂町）と住まいのウチイケ（八丁平）の大工さん2人を講師に迎え、アクリルパーテーション作りに挑戦した。木材の「こぎり」で切り、アクリル木材をビス留めして枠を組み立てる生徒たち

板を差し込み、電動ドライバーでビス留めするなどして完成させていた。完成品は市民活動センターに寄贈した。

参加した川田晨哉さん（室蘭西中3年）は「元々興味があり、いろいろな工具を使えて楽しかった。き



朝預かって…代車…夕刻納車

1日車検

民間指定工場

室蘭自動車工業(株)

室蘭市中島町
4・4・25

TEL(44)2277

れいに木材を切ることができてよかった」と笑顔を見せた。

匠教室は3回目。市内の建設業者に今年、内定をもたらった過去の参加者もいるという。

藤川建設代表取締役社長

の藤川部会長は「少子化で若い人が来てくれない。小中学生の頃から知ってもらうことは基本中の基本」と認知度の重要性を指摘。「関心を持ってもらい、（製造業や建設業に）進んでももらえればと思う」と期待した。

（池田勇人）